

第84回国民スポーツ大会  
第29回全国障害者スポーツ大会  
島根県準備委員会

第3回 広報・地域づくり専門委員会



**JAPAN  
GAMES**



令和7年2月3日（月）

サンラポーむらくも 2階「彩雲の間」



島根 **かみあり** 国スポ・全スポ  
第84回国民スポーツ大会 **2030** 第29回全国障害者スポーツ大会  
自分を**超えろ**、神話をつくれ



島根県観光キャラクター「しまねっこ」



第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会  
島根県準備委員会 広報・地域づくり専門委員会

(敬称略)

No.	分野	所属	役職	フリガナ氏名	備考
1	学識 経験者	国立大学法人島根大学	学術研究院教育学系 教授 (視覚伝達デザイン)	コタニ ミツル 小谷 充	委員長
2		公立大学法人島根県立大学	地域政策学部 講師(ブランディング論)	ヒライ トシアキ 平井 俊旭	(オンライン出席)
3	メディア 広告	山陰広告協会	事務局長	新) タカハシ ケンイチ 高橋 賢一 旧) ヤマザキ カナメ 山崎 要	
4		日本放送協会松江放送局	コンテンツセンター センター長	新) コシノ マサシ 越野 政司 旧) アカバネ ヒサキ 赤羽目 寿樹	
5	スポーツ	公益財団法人島根県スポーツ協会	総務・企画課 課長	タナベ ノリカズ 田部 仁一	
6	福祉	社会福祉法人島根県社会福祉協議会	総務企画部 部長代理	ヒノキダニ ハルヒコ 檜谷 春彦	
7	産業 経済	島根県商工会議所連合会	総務企画部 財務担当部長	フクムラ ヒトミ 福村 仁美	
8		島根県商工会連合会	事務局次長	カドワキ リエコ 門脇 里依子	
9	観光	公益社団法人島根県観光連盟	専務理事	マツモト シュウキチ 松本 修吉	
10	社会団体	公益財団法人島根県老人クラブ連合会	副会長・若手委員長	タケベ マサト 竹邊 正人	
11		島根県連合婦人会	副会長	トリイ キョウエ 鳥居 清枝	
12		公益社団法人日本青年会議所	中国地区島根ブロック協議会 会長	新) キノシタ アツシ 木下 淳 旧) アmano マコト 天野 真	
13		島根県公民館連絡協議会	会長	ナガノ マサオ 長野 正夫	
14	市町村	島根県市長会	事務局次長	ツチエ ミツル 土江 充	
15		島根県町村会	事務局次長	シマダ シンジ 嶋田 慎司	(欠席)
16	島根県	環境生活部	スポーツ振興監	ワタナベ コウジ 渡部 浩二	副委員長
17		政策企画局広聴広報課	課長	オカモト ヒロミ 岡本 浩美	
18		地域振興部しまね暮らし推進課	課長	エズミ マナブ 江角 学	
19		環境生活部スポーツ振興課	課長	アオキ サトル 青木 悟	
20		教育庁保健体育課	課長	オオタ シュンスケ 太田 俊介	代理出席 ナガサコ ユウジ 長廻 裕司 課長補佐

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会  
第3回広報・地域づくり専門委員会 次第

日時：令和7年2月3日(月) 13:30～15:00

場所：サンラポーむらくも2階 彩雲の間

1 開 会

2 報告事項

- |  |      |
|--|------|
| (1) これまでの大会準備経過                                  | P 2  |
| (2) 第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会<br>島根県準備委員会決定事項 | P 6  |
| (3) 広報の取組状況                                      | P 11 |
| (4) イメージソングの取組状況                                 | P 14 |
| (5) 広報・地域づくりスケジュール                               | P 18 |

3 意見交換

- |                  |      |
|------------------|------|
| (1) 県民参加に関する意見交換 | P 20 |
|------------------|------|

4 その他

5 閉 会

## 2. 報 告 事 項

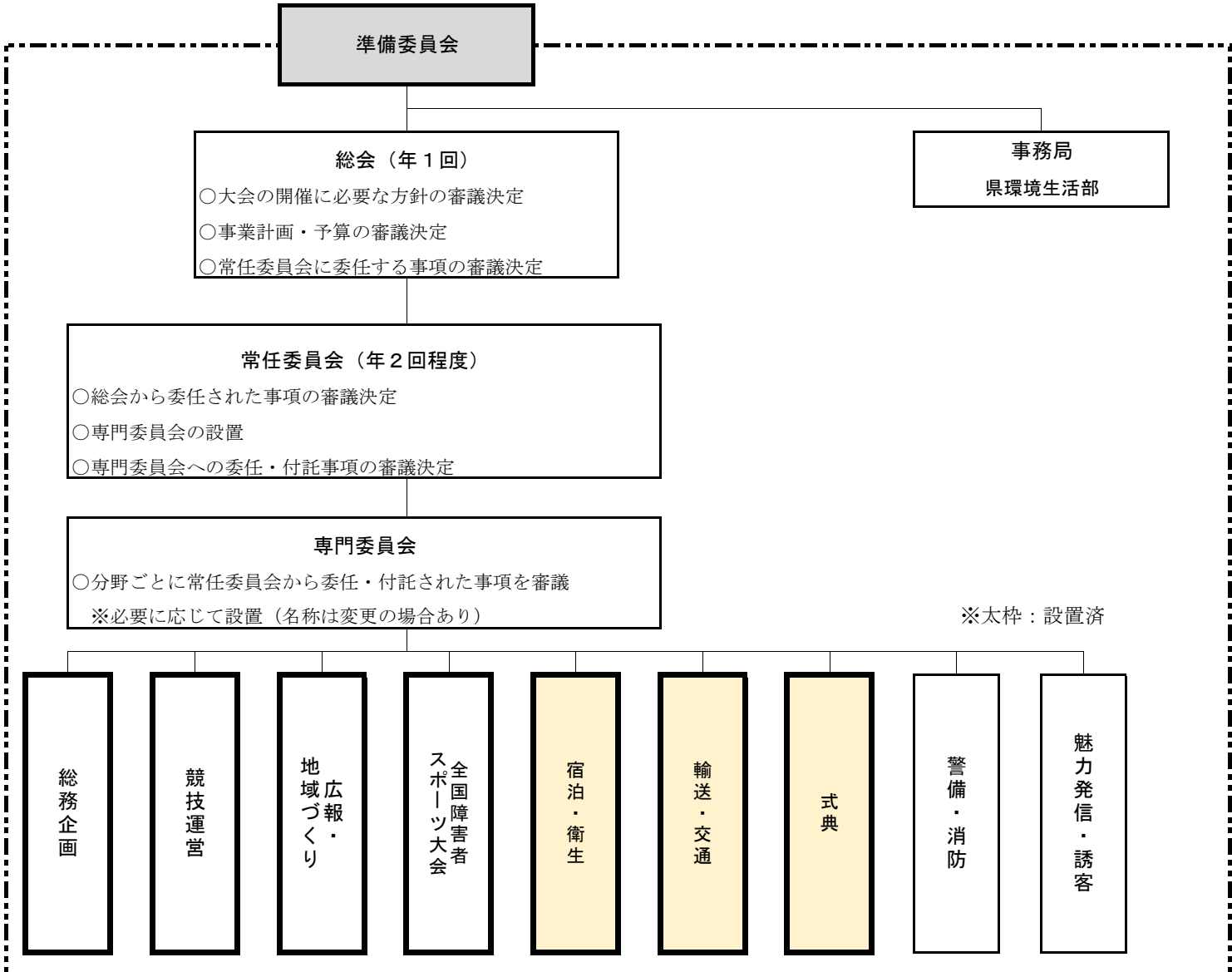
## これまでの大会準備経過

年 月 日	内 容
平成30年 9月3日	(公財) 島根県体育協会が理事会・臨時評議員会で、第84回(2029年)国民体育大会招致を決議
9月10日	(公財) 島根県体育協会が、第84回(2029年)国民体育大会招致に関する要望書を、(公財) 島根県障害者スポーツ協会が第29回(2029年)全国障害者スポーツ大会招致要望書を、それぞれ県、県議会、県教育委員会に提出
9月26日	県議会が「第84回国民体育大会及び第29回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
10月25日	知事が県議会全員協議会において、両大会を2029年に招致することを表明
11月7日 11月8日	県、(公財) 島根県体育協会、県教育委員会が連名で、開催要望書を(公財) 日本スポーツ協会と文部科学省に提出
12月13日	(公財) 日本スポーツ協会国体委員会において、第84回(2029年)国民体育大会の島根県開催が了承
平成31年 1月16日	(公財) 日本スポーツ協会理事会において、第84回(2029年)国民体育大会の島根県開催が内々定
令和元年 10月1日	島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会を設置、3回にわたり会議を開催
令和2年 6月3日	島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会の提言書を岸本強座長より知事に提出
9月25日	公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、文部科学省・スポーツ庁及び鹿児島県の4者が鹿児島国体及び鹿児島大会を令和5年に開催することを決定し、これにより本県で開催予定の第84回国民スポーツ大会及び第29回全国障害者スポーツ大会を令和12年に1年延期することが決定
10月2日	第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会設立総会・第1回総会を開催
令和3年 3月22日	準備委員会第1回常任委員会を開催
7月29日	準備委員会第1回総務企画専門委員会を開催
9月7日	準備委員会第1回広報・機運醸成専門委員会を開催

年 月 日	内 容
令和3年 10月7日	準備委員会第2回総務企画専門委員会を開催
10月12日	準備委員会第2回常任委員会を開催
令和4年 2月16日	準備委員会愛称・スローガン選定部会を開催
3月7日	準備委員会第2回広報・機運醸成専門委員会を開催
3月11日	準備委員会第3回総務企画専門委員会を開催
3月11日	準備委員会第1回競技運営専門委員会を開催
3月16日	準備委員会第2回総会を開催
10月20日	準備委員会第3回広報・機運醸成専門委員会を開催
12月7日	準備委員会第4回総務企画専門委員会を開催
12月16日	準備委員会第3回総会を開催
令和5年 1月17日	準備委員会第2回競技運営専門委員会を開催
2月17日	準備委員会第5回総務企画専門委員会を開催（書面開催）
3月9日	準備委員会第3回常任委員会を開催（書面開催）
7月11日	準備委員会第1回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
7月14日	準備委員会第4回総会を開催（書面開催）
7月27日	準備委員会第1回広報・地域づくり専門委員会を開催
9月4日	準備委員会第6回総務企画専門委員会を開催
令和6年 2月6日	準備委員会第2回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
2月9日	準備委員会第3回競技運営専門委員会を開催（書面開催）
3月6日	準備委員会第7回総務企画専門委員会を開催
3月14日	準備委員会第4回常任委員会を開催

年 月 日		内 容
令和6年	5月30日	準備委員会第2回広報・地域づくり専門委員会を開催
	6月25日	準備委員会第8回総務企画専門委員会を開催
	7月3日	準備委員会第5回総会を開催
	10月17日	準備委員会第1回宿泊・衛生専門委員会を開催
	12月17日	準備委員会第4回競技運営専門委員会を開催
	12月20日	準備委員会第1回輸送・交通専門委員会を開催
令和7年	1月29日	準備委員会第3回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
	2月3日	準備委員会第3回広報・地域づくり専門委員会を開催

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会  
島根県準備委員会 組織図



※太枠：設置済

総 会	大会開催に係る根幹的事項の審議・決定を行う最高機関 開催基本方針、会則の制定、事業計画、予算・決算、常任委員会への委任事項等
常 任 委 員 会	実質的な施策の審議・決定を行う機関 総会から委任された事項（開催基本計画、会場地市町村・実施予定競技の選定等）の審議決定
専 門 委 員 会	専門的な施策の審議・調査を行う機関（必要に応じて設置）
・ 総務企画	総合計画、会場地市町村の選定、施設整備方針、施設基準、募金・企業協賛等
・ 競技運営	実施競技選択方針、運営計画、競技役員養成、用具の整備等
・ 広報・地域づくり	広報基本方針、名称、シンボルマーク、マスコット等の制定、 県民活動基本方針、地域連携の推進等
・ 全国障害者スポーツ大会	大会の開催準備
・ 宿泊・衛生	宿舎・配宿、食事・弁当、医療救護対策、防疫、食品・環境等
・ 輸送・交通	全国輸送、総合開会式の輸送、競技会場地等の輸送計画等
・ 式典	開・閉会式、式典演技、式典音楽の計画等
・ 警備・消防	開・閉会式、競技会場の警備、消防防災対策
・ 魅力発信・誘客	県外からの誘客につなげる歴史・自然・文化など地域資源の整理等

第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会  
島根県準備委員会決定事項

○第 5 回総会（令和 6 年 7 月 3 日）

- ・令和 5 年度事業報告
- ・令和 5 年度収支補正予算（第 2 号）（会長専決処分）
- ・令和 5 年度収支決算
- ・島根県準備委員会専門委員会規程改正
- ・開催準備総合計画改正
- ・令和 6 年度暫定収支予算（会長専決処分）
- ・令和 6 年度事業計画
- ・令和 6 年度収支予算
- ・「島根かみあり国スポ・全スポ」イメージソング制作方針について
- ・県民運動に向けた方針について

各委員会の会議資料については、以下県のHP配下に PDF ファイルをアップしています。

【島根県 HP】

くらし > 文化・スポーツ > スポーツ > 第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会 > 準備委員会

[https://www.pref.shimane.lg.jp/life/bunka/sports/dai84kaikokusupo\\_dai29kaisyouspo/junbiiinkai/](https://www.pref.shimane.lg.jp/life/bunka/sports/dai84kaikokusupo_dai29kaisyouspo/junbiiinkai/)

（右記 QR コードも同様のページへ遷移します。）



## 「島根かみあり国スポ・全スポ」イメージソング制作方針について

### 1 制作目的

イメージソングを制作し様々な場面で流すことで、広く県内外に大会開催をPRするとともに、開催に向けた機運を醸成する。

### 2 先催県の状況

先催県でも大会開催PRのためにイメージソングを制作しており、その制作方針としては、公募や地域ゆかりのミュージシャン等に依頼し作成している。

回	開催年	開催県	タイトル	制作方針	作詞・作曲
74	2019年	茨城県	そして未来へ	全国公募(285件)	愛知県の方
76	2021年	三重県	未来に響け	全国公募(169件)	京都府の方
77	2022年	栃木県	いちご一会	全国公募(152件)	千葉県の方
特別大会	2023年	鹿児島県	ゆめ ~KIBAIYANSE~	特定人	辛島 美登里
78	2024年	佐賀県	Batons ~キミの夢が叶う時~	特定人(詞・曲を別々に依頼)	詞:326(ミツル) 曲:千綿 偉功
79	2025年	滋賀県	シャイン!	特定人(地元シンガーソングライター)	yokko(ヨッコ)
80	2026年	青森県	翔けろ未来へ	詞を全国公募、曲を特定人	詞:熊本県の方
81	2027年	宮崎県	ひなたのチカラ	県内公募(詞:435件) 全国公募(曲:199件)	詞:宮崎県の方 曲:宮崎県の方

### 3 制作に向けた基本的な考え方

- (1) 多くの人にイメージソングを通して、大会に掛ける想いを伝える内容とする。
- (2) 大会後も使い続けてもらえるものにする。(応援ソングのような位置づけ)
- (3) 「島根かみあり国スポ・全スポ」を県民が一体となり、一緒に作り上げていく大会として感じてもらう。

### 4 制作方針

#### (1) 制作方法

楽曲(詞と曲)を全国公募する。(作者等が演奏した作品のCD等を募集する形式)

#### (2) 公募理由

- ① 公募により県内外に対して島根かみあり国スポ・全スポを周知する。
- ② イメージソング制作に参加する機会を創出することにより、県民の国スポへの参加意識を高める。ただし、楽曲となると参加ハードルが高く、参加者が限られるため、多く

の方がイメージソングの制作に関われるような仕掛けを検討する。

案：PV等に使う絵・写真等の公募

- ③ 著作権を県準備委員会が持つことで、作品の活用に制限を設ける必要がない。

(3) 選定等の進め方

- ① イメージソングは、業務委託により事業者を選定し推進する。  
 広報展開、選定の仕掛けづくりなどが必要
- ② 選定には、県民の意見を反映させる仕掛けをつくり、絞り込む  
 案：WEBや実イベントを活用した投票
- ③ イメージソング選定部会（実際の使用を想定し有識者に依頼）で最終作品を選定し、  
 広報・地域づくり専門委員会において決定し、R7年の総会（内定イベント）にて発表（報告）する。

(4) 活用例

会期前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TV やラジオ等での CM、広報や報道の際の BGM</li> <li>・イメージソングに合わせたダンスの制作</li> <li>・各種イベント等での演奏や歌唱</li> <li>・庁舎内、企業内での放送、公共機関等での館内放送や BGM</li> <li>・部活等の練習時、リハーサル大会の競技会場での放送 等</li> </ul>
会期中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開・閉会式（式典前演技等での披露、選手入場 BGM）</li> <li>・競技会場での放送</li> <li>・庁舎内、企業内での放送、公共機関等での館内放送や BGM 等</li> </ul>
会期後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内のスポーツイベントでの活用 等</li> </ul>

(6) スケジュール（案）

2024 年							
5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
★広報・地域づくり専門委員会（5月30日）							
提案競技準備・実施			公募			一次選定	
2025 年							
1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
公開投票			最終審査		★広報・地域づくり専門委員会		
				映像準備		★総会（発表）	

## 県民運動に向けた方針について

### 1 現行スケジュール

県民運動基本計画に記載している参考スケジュール

R6 年度	R7 年度以降
県民運動アクションプログラム（仮）の策定	県民運動の取組開始

### 2 県民運動アクションプログラムとは

内 容：県、市町村の実行委員会・準備委員会、県民がどのような取組みをするのか、  
県民運動の取組例（先催県の事例等を参考）と、着手時期のスケジュール（案）  
として示したもの。

配布対象：市町村

### 3 現状

市町村は中央競技団体の正規視察を今年度行い、そこで出た課題への対応が第一優先。  
また各市町村の体制、状況も異なるため、アクションプログラムを作成しても、県民運  
動を推進できる状況ではない。

一方で、県民運動の目的に掲げる県民一人一人の参加、協力を得るためにも、早くから  
県民運動に係る情報の発信や、その活動が見える化し共有することが、大会開催に向けた  
機運を醸成すると考える。

### 4 方針

当県としては「県民運動」という呼称を、県民一人一人が参加し取り組むものと意識づ  
けるために、外部へ発信する際には「県民参加」という言葉を活用していく。

広報開始時期：R7年度の大会開催内定と合わせて開始する。

広 報 手 段：リーフレット、HP、SNS等

見 え る 化：HPを主に活用し、取組情報を発信

《参考資料：青森県「青の煌めきあおもり国スポ・障スポHP》

「きらめき運動」として取組を募集し、HP上公開

新しく取組を立ち上げるのではなく、既存の取組に紐づける

内定前	内定後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット等の作成</li> <li>・見える化手段の検討</li> </ul>	<p><b>【県民主体の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット等を活用した広報</li> <li>・HP、SNSを用いた取組情報の発信</li> </ul> <p><b>【行政主体の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県や市町村が主導する県民運動の検討・推進 例) のぼり旗の作成</li> <li>※必要に応じ資料を準備</li> </ul>

《参考》青の煌めきあおもり国スポ・障スポ HP 内 県民運動に関するページ抜粋

・取組一覧（登録団体：409 件）

青森市・東津軽郡			
 <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 青も一緒に大会を盛り上げよう！</li> <li>★ 来場者を熱い心でおもてなしましょう！</li> <li>★ めいいっぱいスポーツを楽しもう！</li> <li>★ “来てよし、観てよし、食べてよし”な青森県の魅力を発信しよう！</li> </ul>			
No.	団体名	市町村	きらめき活動
1	「小さな親切」運動 青森県本部	青森市	★ ★ ★ ★
2	青森県ノルディック・ウォーク連盟	青森市	★ ★ ★ ★
3	青森県庁スキークラブ	青森市	★ ★ ★ ★
4	青森県庁テニスクラブ	青森市	★ ★ ★ ★
5	青森山田こども園	青森市	★ ★ ★ ★
6	青森市立橋本小学校	青森市	★ ★ ★ ★

- ・あいうえお作文の形式で「きらめき」の頭文字に合わせ活動を分類。  
「き」大会を盛り上げる活動  
「ら」おもてなしをする活動  
「め」スポーツを楽しむ活動  
「き」魅力を発信する活動

- ・団体が上記活動の何に取り組んでいるのかを分かり易く示している。

- ・既存の取組に紐づけるものも多い。  
(例：既存の清掃活動は「ら」の取組)

・団体ページ

団体名	青森市立橋本小学校
活動内容	「青の煌めきダンス」を通じて大会を応援しています。
公式ホームページ・SNS	◦ <a href="https://sites.google.com/vaomoricity.ed.jp/hashimotosyo/">https://sites.google.com/vaomoricity.ed.jp/hashimotosyo/</a>



**き(大会を盛り上げる活動)**

全校児童で青の煌めきダンスに挑戦しました！  
掲載日：2023年08月14日

- ・団体名、活動内容に加え、HP、SNS のリンクを掲載。

- ・団体としては、自分たちの取組みを発信する機会として活用できる。

・活動紹介ページ

**全校児童で青の煌めきダンスに挑戦しました！**

掲載日：2023年08月14日 ★(大会を盛り上げる活動)

7月7日、青の煌めきダンス出動教室があり、児童みんなで挑戦しました！ステージでパフォーマンスということで、最初は少し難しさもありましたが、最後はみんなバツナリダンスできました！アップリット君も一緒に踊ってくれて、子どもたちも大盛り上がりでした！

**活動写真**



- ・取組内容を公開。

- ・左記のように小学校のダンス紹介をすることで、その他学校等への取組の広がりが期待できる。

No	広報物・広報媒体	内容等
1	<p>スポーツレクリエーションフェスティバル</p> 	<p>【開催日・会場】</p> <p>①令和6年6月29日 島根県立体育館 ②令和6年9月14日 松江市総合体育館</p> <p>【内 容】</p> <p>①：缶バッジ制作体験を実施 ②：国スポ競技用具を展示し、実際に触れる体験を実施 (なぎなた、ホッケー、弓道、ライフル射撃、フェンシング、カヌー)</p>
2	<p>SNS (Instagram、X、Youtube) の開設</p> 	<p>【開設】</p> <p>令和6年9月2日 Instagram 令和6年10月2日 Youtube 令和6年10月9日 X (旧Twitter)</p> <p>【Instagram、X】</p> <p>大会開催に向けた準備状況、イベントや大会情報など、様々な情報を発信中。</p> <p>Instagram 471フォロワー (1月17日時点) X 865フォロワー ( " )</p> <p>【Youtube】</p> <p>制作した動画 (現在はPRムービー、CM動画) を公開。今後もイメージソング等、制作動画をアップ予定。</p>
3	<p>しまねっこフェスティバル</p> 	<p>【開催日・会場】</p> <p>令和6年9月22日 くにびきメッセ ※来場者数：約12,000人</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>缶バッジ制作体験 Instagramの登録をすると体験できるとして実施したところ、1日で200以上のフォロワーを獲得。</li> <li>ボッチャ、フェンシング競技の体験</li> </ul>

No	広報物・広報媒体	内容等
4	<p>さんべ祭（おおだ教育フェスタ）</p> 	<p>【開催日・会場】 令和6年10月20日 国立三瓶青少年交流の家</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>缶バッジ制作体験</li> </ul> <p>大田市で開催する弓道、空手道、柔剣道のしまねっこ図柄の缶バッジを制作お絵描きをしたものを缶バッジにする内容を実施。</p>
5	<p>ケーブルテレビ特番(県重点広報)</p> 	<p>【タイトル】 未来への躍動 ～島根かみあり国スポ・全スポに向けて～</p> <p>【放映期間】 10月 ※現在は、しまねっこCHで公開</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アスリートキッズ事業で実施した「フェンシング」体験会の様子 ※東京オリンピック金メダリスト 宇山賢さんが指導</li> <li>車いすバスケットボール体験会の様子 島根スサノオマジックの選手が参加</li> </ul>
6	<p>イメージソング全国公募</p> 	<p>【期間】 情報公開 9月24日 募集期間 10月10日～12月10日</p> <p>【広報媒体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビCM（吉田くんとコラボ）</li> <li>ラジオCM</li> <li>SNS</li> <li>ポスター</li> <li>Google広告</li> <li>日比谷しまね館デジタルサイネージ</li> </ul> <p>【応募曲数】 280曲</p>

No	広報物・広報媒体	内容等
7	<p>その他体験会や公募企画</p> 	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国障害者スポーツ正式競技の体験会</li> <li>・スローガンの揮毫公募（県内15校、333点の応募）</li> <li>・市町村や団体実施イベントへの備品貸出</li> </ul> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バナー、ポスター等の掲示</li> <li>・缶バッジ配布</li> </ul>
8	<p>マスコットキャラクター非営利目的での使用</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛称、スローガン、しまねっこの画像について非営利目的での使用が可能。</li> </ul> <p>【2024年度実績（1月20日時点）】 22件許諾</p> <p>※各種競技団体の大会・イベント等での活用が中心。ポロシャツ、Tシャツ、ポスター等に活用。</p>
9	<p>事務局車両を用いた広報</p> 	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根かみあり国スポ・全スポロゴデザインを活用したマグネットシートを事務局車両へ掲載（令和6年4月）。</li> <li>・訪問先への移動時間を活用した広報</li> </ul>

## イメージソングの取組状況

## 1. 全国公募の実施

## ① 期間

- ・ 9月24日に全国公募の情報を告知
- ・ 応募期間は10月10日～12月10日  
(当日消印有効)

## ② 内容

- ・ 愛称、スローガンをイメージできるもの(大会後も使用できるもの)
- ・ 幅広い年齢層の方に分かり易く、覚えやすい、そして口ずさみたくなる歌詞やメロディ
- ・ 日々挑戦する人たちを応援するもの



## ③ 応募資格

- ・ プロ・アマ、個人・グループ問わず応募可能

## 2. 各種広報媒体を活用し広報実施

## ① インターネットを活用した広報

大会HP、SNS、Google ディスプレイ広告、公募サイト

## ② テレビ、ラジオCMによる広報

テレビCMでは、しまねっこと吉田くんを活用

YouTube(大会HPへの埋め込み)、SNS、日比谷しまね館のデジタルサイネージと幅広い用途で活用

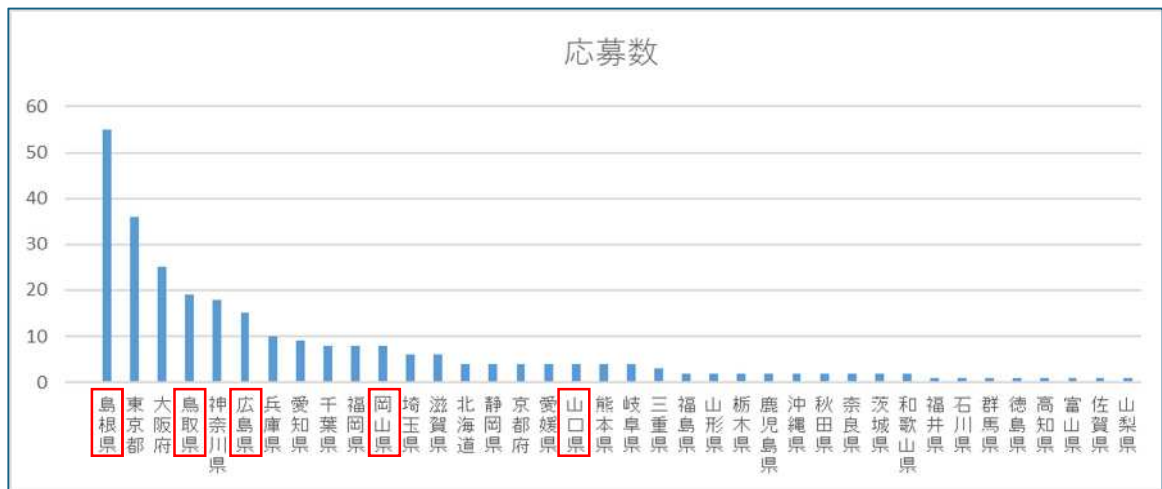
## ③ ポスターによる広報

イオン、コンビニ等の商業施設や、県内の高校、大学へも掲示

※特に大学生には、大学側から学生個人あてにメールによる周知を実施  
学生への大会認知度向上につながったのではないかと考えている。

### 3. 募集結果

全国 38 都道府県から 280 曲 の応募。内、島根県からの応募は最多 55 曲。



- ・東京、大阪、神奈川と大都市が並ぶ中、鳥取、広島からの応募も多数あり。
- ・年齢は、10代～90代と幅広い年齢層。
- ・応募者の性別に大きな偏りはなかった。

### 4. 採用楽曲決定・発表までの流れ

- ① 280 曲の楽曲の絞り込み作業を実施。10～20 曲程度まで絞り込む。
- ② 絞り込まれた楽曲を WEB サイト上に公開、視聴者投票を行う
  - ・ 視聴して気に入った楽曲（最大 3 曲）を視聴者が投票する。
  - ・ 視聴者の属性情報（性別、年代）に加え、選んだ楽曲の感想を記入可能とする。
- ③ 選定部会を設置し、最終選考を実施。
  - ・ 視聴者投票結果を参考情報として利用。
- ④ 広報・地域づくり専門委員会で報告の上、来年度の総会の場で発表予定。

## 5. 歌唱者

### 【先催県の状況】

都道府県	制作方法	歌唱者	曲名	その他
愛媛県	公募	水樹 奈々	えがおは君のためにある	県出身(声優・歌手)
福井県	特定人	CHASO	君が最高に輝くように	—
三重県	公募	野田 愛実	未来に響け	県出身(歌手)
茨城県	公募	磯山 純	そして未来へ	県出身 (シンガーソングライター)
栃木県	公募	サトウ ヒロコ	いちご一会	県出身 (シンガーソングライター)
鹿児島県	特定人	辛島 美登里	ゆめ ～KIBAIYANSE～	県出身 (シンガーソングライター)
佐賀県	特定人	鷺尾 伶菜	Batons ～キミの夢が叶う時～	県出身(歌手)
滋賀県	特定人	Yokko	シャイン!!	県出身 (手話シンガーソングライター)
青森県	公募	りんご娘	翔ける未来へ	県出身(ご当地アイドル)
宮崎県	公募	ひなたサイン	ヒナタの力	県出身 大会のために構成された特別バンド(女性2名、男性1名)

- ・ 歌唱者は、先催県では県出身者が選定されている。県内居住有無は関係ない。
- ・ 歌唱者は1人・グループが主流であったが、宮崎県が大会に向けバンドを特別に結成する仕掛けを実施。
- ・ 開・閉会式では、ご本人を呼び会場で歌唱し、盛り上げている。

## 6. 活用例

会期前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TV やラジオ等での CM、広報や報道の際の BGM</li> <li>・ イメージソングに合わせたダンスの制作</li> <li>・ 各種イベント等での演奏や歌唱</li> <li>・ 庁舎内、企業内での放送、公共機関等での館内放送や BGM</li> <li>・ 部活等の練習時、リハーサル大会の競技会場での放送 等</li> </ul>
会期中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開・閉会式(式典前演技等での披露、選手入場 BGM)</li> <li>・ 競技会場での放送</li> <li>・ 庁舎内、企業内での放送、公共機関等での館内放送や BGM 等</li> </ul>
会期後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内のスポーツイベントでの活用 等</li> </ul>

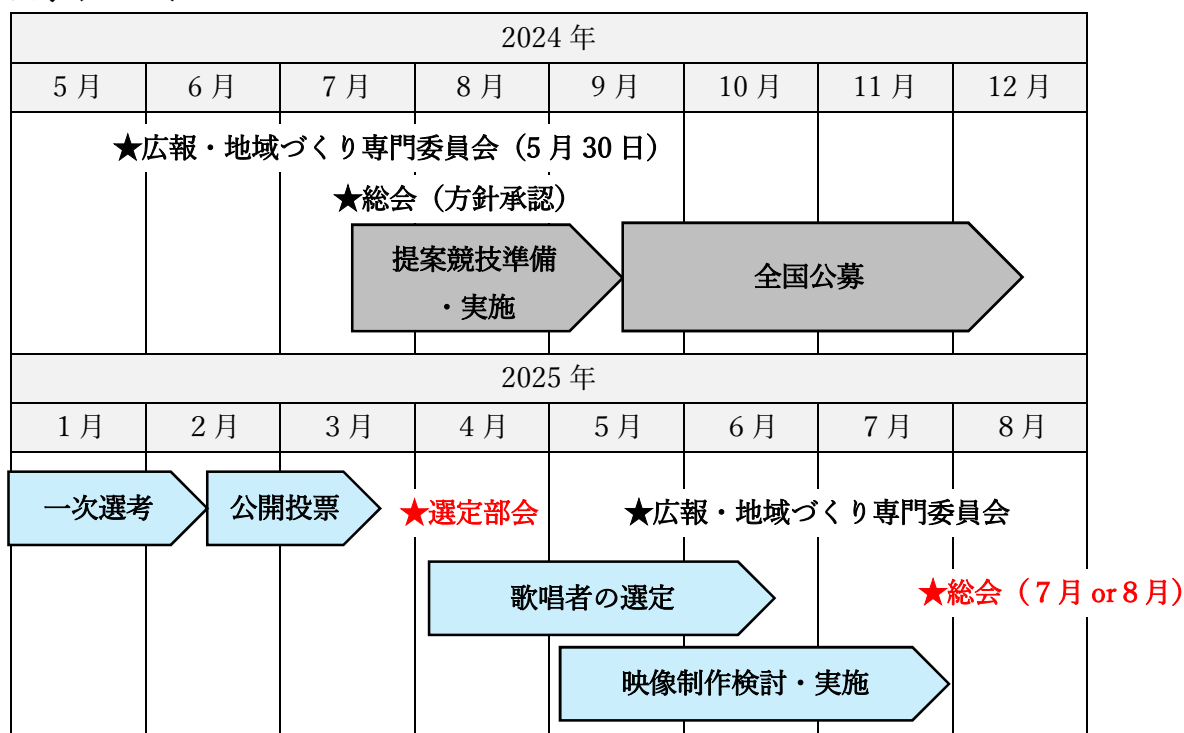
## 7. 動画制作

決定した楽曲とともに活用する動画を制作する。

先催県では大会開催までのところで複数パターンの動画を制作されている。

都道府県	制作動画	概要
滋賀県 2021年 発表	ミュージックビデオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱者とマスコットキャラクター</li> <li>・撮影場所は会場地と思われる場所</li> </ul>
	手話バージョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話を中心とした映像</li> </ul>
	プロモーションビデオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱者、マスコットキャラクターに加え、競技団体や高校生が出演</li> <li>・実際の競技シーンを中心にまとめている</li> </ul>
青森県 2020年 発表	PR 動画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱者を中心に、途中選手のインタビューや競技シーンを入れている</li> <li>・撮影場所は、陸上競技場をメイン</li> </ul>
	手話バージョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話を中心とした映像</li> </ul>
	ダンスバージョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱者がダンスとともに歌唱</li> <li>・撮影場所は競技会場地</li> </ul>
宮崎県 2024年 発表	メイキング映像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バンドメンバーを中心にした映像</li> <li>・メイキング映像のため、映像制作過程の様子がまとめられている。</li> </ul>

## 8. スケジュール



## 広報・地域づくり活動スケジュール

※都度、見直しをかけていく

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
年前	10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	
開催状況					中央団体 正視視察	内定		正式決定		リハーサル大会	本大会	
大会機運	興味・関心向上				県民意識の高揚・参加・応援機運向上			県民の一体感・歓迎ムードの醸成		郷土愛の定着		
1 愛称・スローガン等による広報	愛称・スローガンの募集・決定		ロゴ、デザインガイドマ ニュアル作成		マスコットキャラクター・イメージソング・ダンス等の検討及び活用							
2 広告物による情報発信 (印刷物・グッズ等)	ポスター・パンフレット・リーフレット等の作成					広報グッズの作成 (クリアファイル、缶バッジ、うちわ、ポケットティッシュ等)			大会広報誌の検討・発行			
3 多様なメディアによる広報	SNSを活用した情報発信											
	県HPの活用				選手・競技紹介HPの 開設・活用				大会専用HP開設・活用			
	新聞・ラジオ・テレビ等による広報											
4 イベント等による広報					開催内定 イベント	開催決定 イベント		1年前イ ベント	100日前 イベント	関係団体等との連携イベント		
5 広告物による情報発信 (屋外広告物)									横断幕・懸垂幕	広告塔	歓迎塔等 カウントダウン ボード等	
6 記録映像等の制作										記録映像・記録写真集		
7 参加章等の作成										参加章・記念章の作成		
8 県民参加の取組				県民運動基本方 針・計画の策定	県民参加の取組 方針検討・広報準備 (リーフレットの制作)	県民参加の取組 (第1フェーズ) ・既存の取組 (個々) の広報・波及 (清掃活動、スポーツ活動・観戦、伝 統芸能活動 (神楽) 等)		県民参加の取組 (第2フェーズ) ・第1フェーズに加え、一体的な活動の呼びかけ (スポーツゴミ拾い、大会関連イベントへの参加、広報・運営ボランテ ア等への参画)				

第84回全国スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会

### 3. 意見交換

## 県民参加の取組に関する意見交換

## 1. 当県が県民参加の取組を通して目指すところ

## 【開催基本構想が掲げる目標】

オール島根で島根愛を醸成し、スポーツを通して豊かな人と地域を創る  
 “島根創生の実現を目指して”

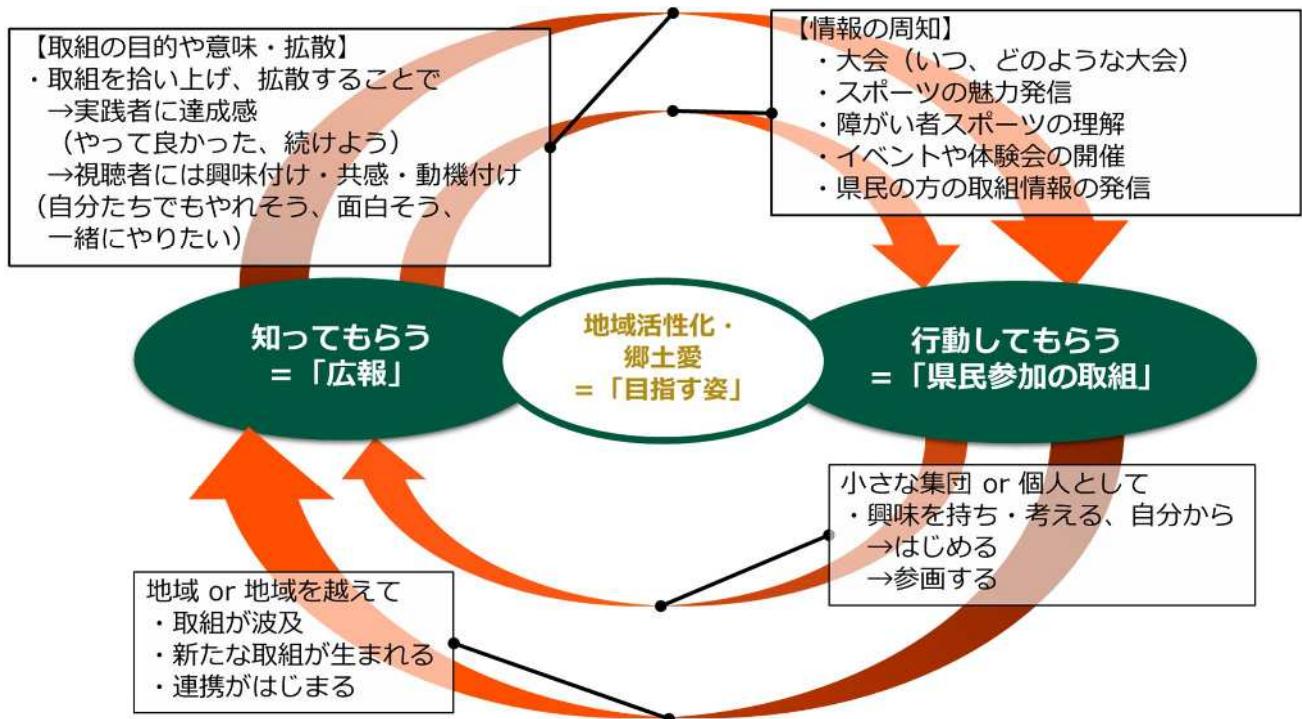
実現に向けて求められること

- ・ 県民一人一人が参加し協力するなかで、得られる感動や達成感
- ・ 1つの目標に向け、県民が一体となって取り組むパワーの体感と、想いの共有

「県民参加の取組」を実現の場とする

## 2. 県民参加の取組推進構想（イメージ）

- (1) 県民の皆さまに「知ってもらう（広報）」
- (2) 県民の皆さまに「行動してもらう（県民参加の取組等）」



### 3. フェーズを分けた取組の推進

#### 【第1フェーズ：5年前～】

- ① 皆さんが今取組まれている活動が「2030年の大会に繋がっていること」として、既存の取組情報を収集し、島根かみあり国スポ・全スポに向けた活動であることを承認する。  
(例：綺麗なまちづくり(清掃・美化等)、島根の自然・文化・歴史の維持・発信、スポーツ活動・観戦)
- ② 取組をHP等で発信・共有することで、波及効果を狙う  
(自分たちもやっている、それならできる→数を増やす)

#### 【第2フェーズ：3年前～】

- ③ 共通テーマに対して、団体で競う、全体で達成する、活動報告をする等、連携を深める。  
(例：スポーツ GOMI 拾い、大会関連イベントへの参加、イメージソングの活用、等)
- ④ 大会運営に係る協力の呼びかけ、ボランティア等への参画。  
(例：都道府県応援団としての参加、のぼり旗等の作成、広報、運営ボランティアとして参画、等)

### 4. 取組内容

#### (1) スポーツに親しむ環境づくり

- ・ライフステージに応じたスポーツ活動への参加(体操教室、グランドゴルフ等)
- ・体験教室やスポーツイベントへの参加
- ・スポーツ観戦・応援(島根スサノオマジック、ディオッサ島根FC、ポルセイド浜田等)



#### (2) 県民総参加による大会の盛り上げ

- ・国スポ・全スポ関連イベントへの参加
- ・ボランティア活動への参加
- ・SNS等を活用した情報発信・拡散
- ・イメージソングの活用
- ・募金や企業協賛による支援



- (3) 県民一人一人によるおもてなし
- ・地域の清掃、美化活動（ゴミ拾い、草刈り、プランターによる花植え等）
  - ・あいさつ運動や手話講座の受講
  - ・選手の応援（手作り横断幕、のぼり旗、都道府県応援団）
  - ・特産品によるおもてなし



- (4) 島根の多彩な魅力を全国に発信
- ・SNS等を活用した情報発信
  - ・伝統芸能（神楽、お祭り等）の実演
  - ・豊かな自然や歴史、文化の紹介



## 5. 参加を促す仕掛け

都道府県	内容
三重県	県民運動に取り組む団体を募集し、登録団体へミニのぼり（1本）あるいはステッカー（人数分）を配布
栃木県	活動時、普段使いとして応援バンダナを配布（栃木県報告書より抜粋）










## 6. 意見交換

県民参加の取組を通じて、達成感や感動を他者と共有するにあたり、様々な県民参加の取組を1つのチームのように見せることができないかと考えています。

その手段の1つとして、それぞれの団体の取組みをHP等で発信し、共有することや、スポーツごみ拾いのように、同じ目標に向かって取組を呼び掛けることを考えています。

その他、

①花いっぱい運動のように次の方にバトンを繋いでいくような取組

※花いっぱい運動は、処分費用等がかかるといった課題が先催県から上がっており、佐賀大会では県を上げて取組むことはされていない。

②共通で身に着けるものを配布する。

※島根かみあり国スポ・全スプロゴで活用している、緑・橙・金色を基調としたものが良いのではないかと考えている。

①のように県民参加の取組を通じて、普段接点の無い人たちが、横の繋がりをつくるような取組案があればご意見をいただけますでしょうか。

②のように、県民が1つのチームと見えるように、共通で身に着けてもらえる、使ってもらえるものの案や、1つのチームとして見えるようなその他方法など、ご意見をいただけますでしょうか。

また、その他、県民参加の取組を盛り上げ、一体感を醸成していく上で、どのようなことが考えられるかご意見をいただけますでしょうか。

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会  
島根県準備委員会事務局

(島根県環境生活部島根かみあり国スポ・全スポ準備室内)

〒690-8501

島根県松江市殿町1番地

TEL:0852-22-6096      FAX:0852-22-6833

E-mail: kokumin-sports@pref.shimane.lg.jp